

2022年度 インターンシップ・プラス報告書

実施期間：2022年8月29日（月）～9月2日（金）

青森県 県土整備部

目次

1. インターンシップの目的～業務の本質とは？～ …… 1
2. 県土整備部の組織図 …… 2
3. 県土整備部の業務内容 …… 3
4. 2022年度 インターンシップ・プラスについて
 - (1) インターンシップ実施概要 …… 4
 - (2) カリキュラム体系 (①、②) …… 5～6
 - (3) 実施状況の紹介 (①、②) …… 7～8
 - (4) アンケート結果について …… 9
5. 総合土木職に関する年間スケジュール …… 10
6. 青森県土木系技術職員（大卒程度）の応募・受験状況 …… 11
7. 関連サイト・問い合わせ先 …… 12
8. 県土整備部キャリアNAVIの紹介 …… 13
9. 終わりに

1. インターンシップの目的～業務の本質とは？～

社会資本整備（Infrastructure）とは・・・

「県土整備部の業務内容は？」と尋ねられれば、一般的には「道路の新設・改良・管理保全、河川・空港港湾の整備維持管理、砂防、地すべり防止、都市計画、土地利用対策のほか、工業用水道（公営企業）に関する業務」とはなりますが、残念ながら、これだけでは業務の本質が伝わったとは言えないと考えています。

我々技術系公務員を含め、社会資本整備を担う者は「そこに存在して当たり前なもの」を扱っているとも言えるのではないのでしょうか。毎日通勤、通学で使っている道路が明日も変わらずに通行できること、国民（県民）の日常生活に直結する国内外の物流ネットワークが明日も変わらずに正常に機能していること、水道・電気などのライフラインが明日も変わらずに使えることなど、我々の生活は実に多くの「仮説」の上に成り立っていることが分かるかと思います。こうした「仮説」が崩れた瞬間に我々の日常生活はたちまち大きな混乱に至ります。

我々も含めて社会資本整備を担う者はこうした数え切れない「仮説」を「現実のものにする」、「当たり前のものにする」ことを365日繰り返しているとも言えます。

これは我々の業務本質の一面にすぎませんが、インターンシップでは、こうした「業務の本質」を伝えることに主眼を置き、社会資本整備を担うことのやりがいや意義等を学生の皆さんに知って頂くことや、「技術系公務員」として働くことを正確にイメージして頂くことによるキャリア教育支援を目指しています。

青森県 県土整備部

県土整備部の組織図

県土整備部

Department of Land and Infrastructure

知事

副知事（2名）

部長

次長（2名）

合計約**400名**の**土木系公務員**が働いています。

事業化後の問題点・課題等を
計画修正・予算確保に反映

事業化

プランニング
予算確保

予算
配分

監理課

整備企画課

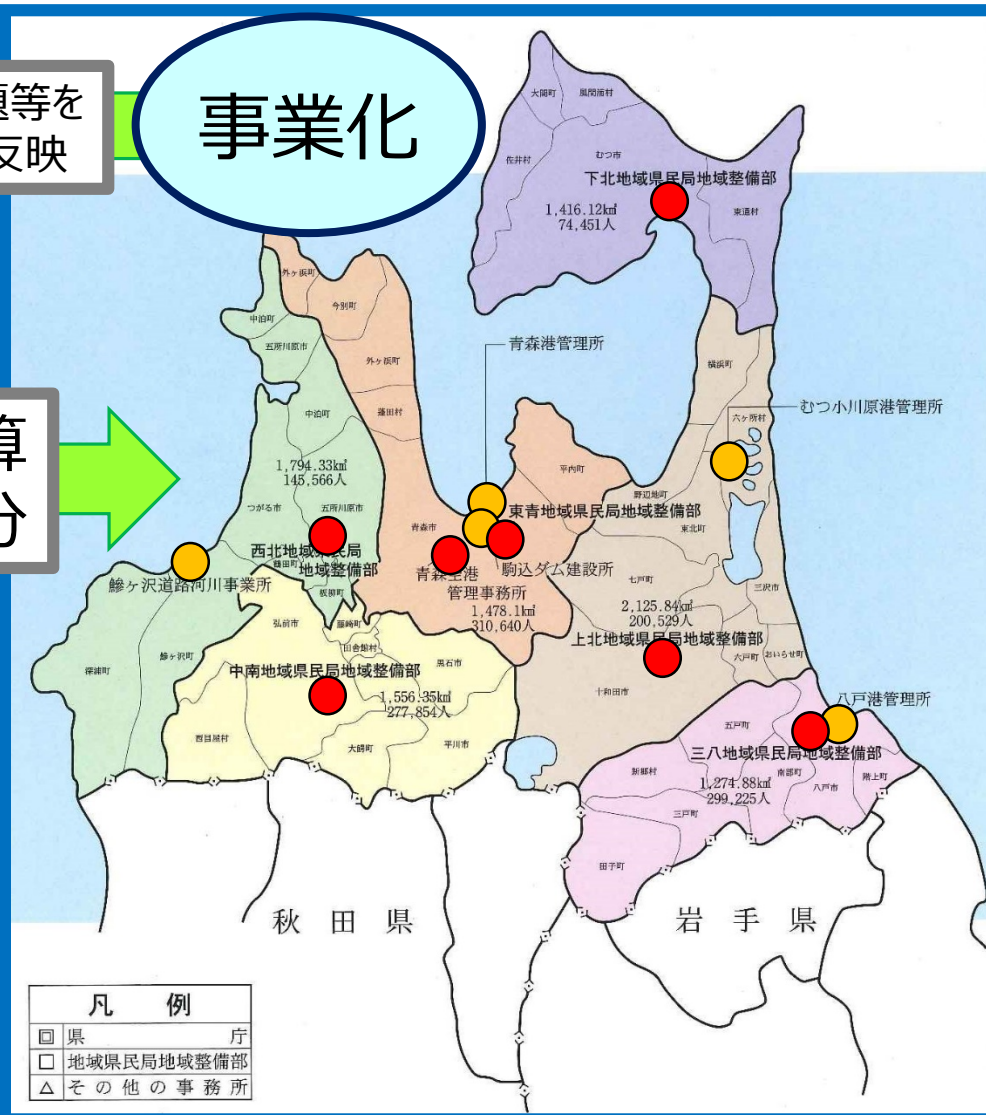
道路課

河川砂防課

港湾空港課

都市計画課

建築住宅課



本庁：県土整備部（7課、32グループ）

約120人の土木系公務員
(事務系公務員：約80名)

出先機関：地域県民局 地域整備部（6）
+ 青森空港管理事務所（1）

約280人の土木系公務員
(事務系公務員：約120名)

県土整備部の業務内容

(令和4年4月時点)

【本 庁】・・・計7課 (32グループ)

監理課 (4グループ) ...【県土整備部の総括】部内の人事・組織、予算調整、建設産業振興に関することなど

整備企画課 (3グループ) ...工事、設計基準等の技術的事項の指導・事務改善・連絡調整、公共事業の進捗管理など

道路課 (6グループ) ...県管理道路 (国道、県道、地域高規格道路) の新設・改築・管理 (冬期含む) 、交通安全事業、災害防除事業、除雪事業、橋梁アセットマネジメント、市町村道事業の指導など

河川砂防課 (5グループ) ...河川・海岸・ダム の整備・管理、土砂災害・地すべり・急傾斜地の災害防止対策、災害復旧対応など

港湾空港課 (5グループ) ...港湾の改修・維持管理・利用促進、クルーズ船誘致、青森空港に関することなど

都市計画課 (5グループ) ...都市計画 (土地利用、都市施設、市街地開発) 、景観形成、街路事業、公園・緑地保全、下水道 (公共、流域) など

建築住宅課 (4グループ) ...県営住宅の建設及び管理、建築基準、建築物の耐震改修促進など

【出先機関】・・・計7機関

地域整備部 (県内6つ) ...所管する管内において、工事の発注から施工管理、品質管理及び工事完成後の維持管理を通じて、道路や港をはじめとする交通基盤の整備、河川やダム整備による防災対策の向上、都市部の良好な景観の形成など

青森空港管理事務所...青森空港の基本施設 (滑走路・灯火など) や道路、有料駐車場などの維持管理・補修。また、航空機が安全に運航できるように制限区域の保安や監視、除雪、路面のチェックなど

4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(1) インターンシップ実施概要

日時：2022年8月29日（月）～9月2日（金）の5日間

場所：青森県庁南棟2階中会議室（現場見学は別途）

参加条件：土木系公務員を希望している大学生（学年及び学部・学科の種別は全て不問）

－2022年度の応募要領－

2022

申込締切
7/8 金

申込は
学校内担当者経由で

青森県 県土整備部 インターンシップ・プラス 土木・建築系公務員

インターンシップ研修生募集

公共事業の仕組みや土木・建築系公務員の役割・職場環境について幅広く知ってもらくとともに、「職業意識向上」機会の提供や「キャリア教育」の一環として、インターンシップ研修生を募集します。

研修期間

8.29 月 → 9.2 金

募集対象

全国の大学生・高専生 30名程度
(学部・学科・学年は不問)

カリキュラム

1～4日目：9:00～17:15
5日目：9:00～12:00

1日目：ガイダンス 県庁舎見学 基礎座学
2日目：工事現場見学
3日目：基礎座学 意見交換
4日目：実務プロセス演習
5日目：取りまとめ発表 採用試験解説
注）カリキュラムが変更となる場合があります。

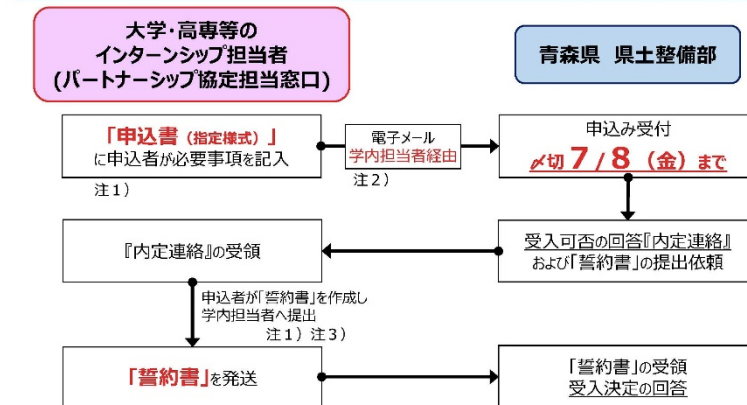
研修会場

青森県庁舎内(工事現場見学は屋外の予定)

【問い合わせ】 〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 青森県 県土整備部 整備企画課
TEL：017-734-9644（直通） E-mail：seibikikaku@pref.aomori.lg.jp

申込は、ウラ面「申込手続の流れ」をご確認ください。

令和4年度 申込手続の流れ



注1) 「申込書」及び「誓約書」は指定様式をお使いください。
注2) お申し込みは、「申込書」エクセルファイルを電子メールで【問合せ・申込先】へ提出してください。
注3) パートナーシップ協定締結校（一覧表参照）は、協定により、「誓約書」の提出は不要です。

【指定様式（申込書・誓約書）のダウンロードはこちらから！】

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/aokendo-internship-style.html>



【パートナーシップ協定締結校】

学校名	担当窓口	
北海道大学	キャリアセンター インターンシップ担当	011-706-3273
常陸工業大学	建築社会基盤系学科 事務室	0143-46-5200
弘前大学	キャリアセンター 学務部 就職支援室	0172-39-3936
八戸工業高等専門学校	学生課	0178-27-7234
八戸工業大学	土木建築工学科 事務室	0178-25-5018
岩手大学	学務部 学生支援課	019-621-6989
秋田大学	学生支援・就職課 就職推進担当	018-889-2262
山形大学	事務部 学生・キャリア支援課	023-628-4128
宇都宮大学	キャリア教育・就職支援センター	028-649-5106
東北工業大学	キャリアサポート課	022-305-3333
日本大学	理工学部 交通システム工学科 事務室	047-469-5239
	理工学部 土木工学科 土木事務室	03-3259-0687
	生産工学部 土木工学科 事務室	047-474-2420
	工学部 就職指導課	024-956-8643

受入条件など

- (1) 研修生には、報酬・旅費・宿泊費、その他の費用は支給されません。
- (2) 研修中の事故に備え、各自、傷害保険・損害保険等に加入してください。
- (3) 研修期間中、県の責によらない事故・災害に対して、県は一切の責任を負いません。
- (4) 新型コロナウイルス感染症などの発生状況に応じて、受け入れできない場合があります。



青森県整備部Twitterアカウント

『青森県建設キャリア支援ポータルサイト』Build Aomori.com



2022年度は、弘前大学、岩手大学、山形大学、東北工業大学、信州大学、北海道大学、北海道科学技術大学、北見工業大学、宇都宮大学、金沢工業大学、長岡科学技術大学、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校、計13校から19名の学生さんに参加いただきました。

4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(2) カリキュラム体系①

5日間 全17カリキュラム

スクール形式
(9カリキュラム)

庁内見学

実務演習
(ロジカルシンキング)

現場見学
(1日)

OB・OGとの
意見交換会

研修生による
意見発表



延べ53名のスタッフが
皆さんの**キャリアイメージ (キャリアマッチング)**をサポートしています！

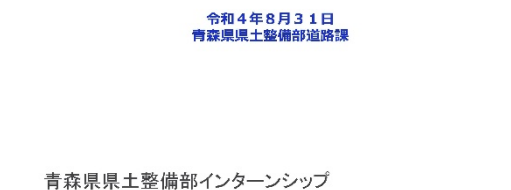
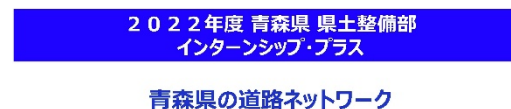
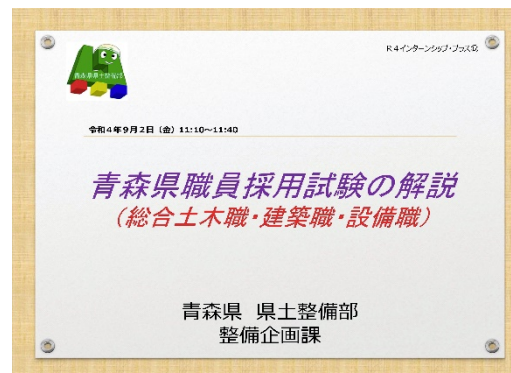
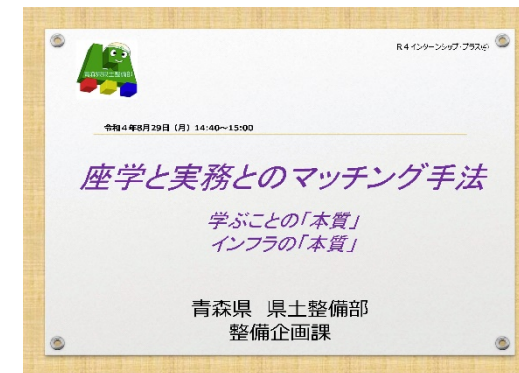
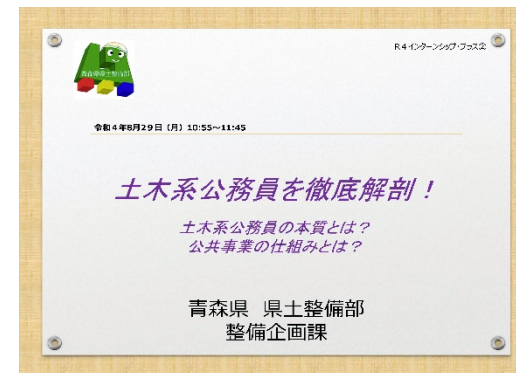
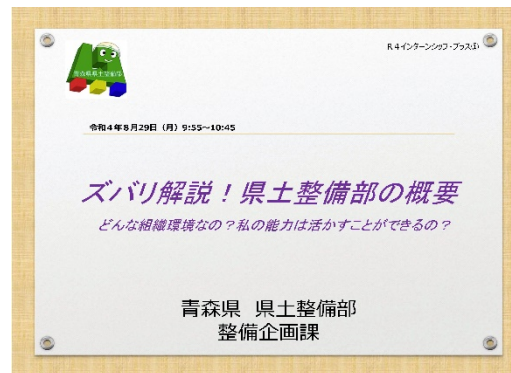
4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(2) カリキュラム体系②

2022年度は全17カリキュラムにて実施しました。

NO	分類	カリキュラム内容
1	キャリアマッチング	ズバリ解説！県土整備部の概要
2		土木系公務員を徹底解剖！
3		座学と実務とのマッチング手法
4		職員採用試験（総合土木職）の解説
5	建設業	i-Constructionと働き方改革
6	道路	奥入瀬溪流の『環境保全』と『生業』の両立を目指した取組、道路ネットワーク、維持更新時代への対応～橋梁アセットマネジメント
7	河川	防災・減災の取り組み
8	都市計画	人口減少下での都市づくり
9	港湾・空港（物流）	Local to Local、Local to Worldの実現をめざして～青森県ロジスティクス戦略2ndステージの取組から～
10	実務演習	ロジカルシンキング実務演習（グループ毎の練習、演習テーマ説明等）
11		ロジカルシンキング実務演習（グループ演習＋発表）
12	見学	県庁舎見学その1（県議会議場、県土整備部執務室、災害対策本部室）
13		県庁舎見学その2（秘書課フロア）
14		現場見学（新青森県総合運動公園水泳場建設地→東青地域整備部（執務室、横内川多目的遊水地）→青森港→常海橋白銀線）
15	コミュニケーション	地域整備部職員との意見交換会
16		若手職員との意見交換会（出身大学別）、理工系女子トーク
17		研修生による意見・提案・感想発表
その他		仮入庁式及びガイダンス
		終了式

ー使用テキストのイメージー



※「ロジカル・シンキング」とは、情報を決められた枠組みにしたがって整理・分析するさまざまなスキルの集まりを指し、これらを使うことによって、複雑なものごとの因果関係や機能を明快に把握したり、問題に対する有効な解決策を導き出したりすることが可能になります。

4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(3) 実施状況の紹介①



－スクール形式によるカリキュラム－



－グループ形式によるカリキュラム－



－県議会議場見学－



－知事との意見交換会－

4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(3) 実施状況の紹介②



－現場見学（県道_常海橋銀線）－



－現場見学（新青森県総合運動公園水泳場）－



－OB・OGとの意見交換会（全景）－

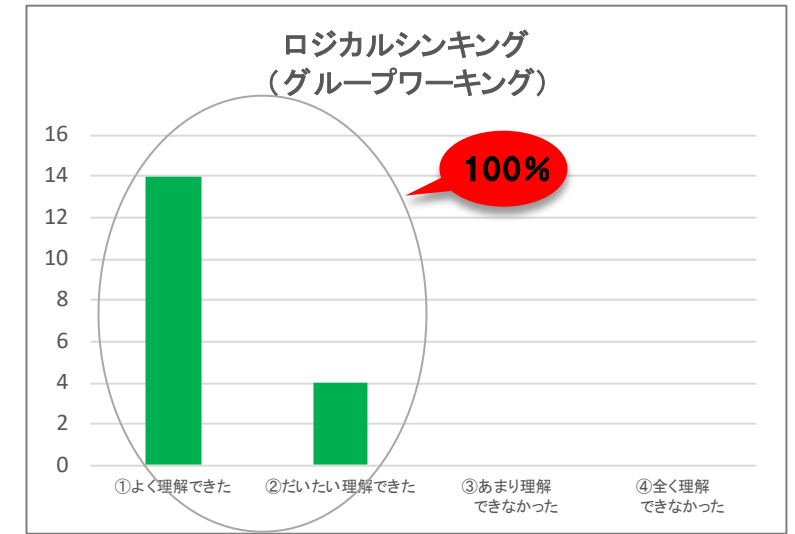
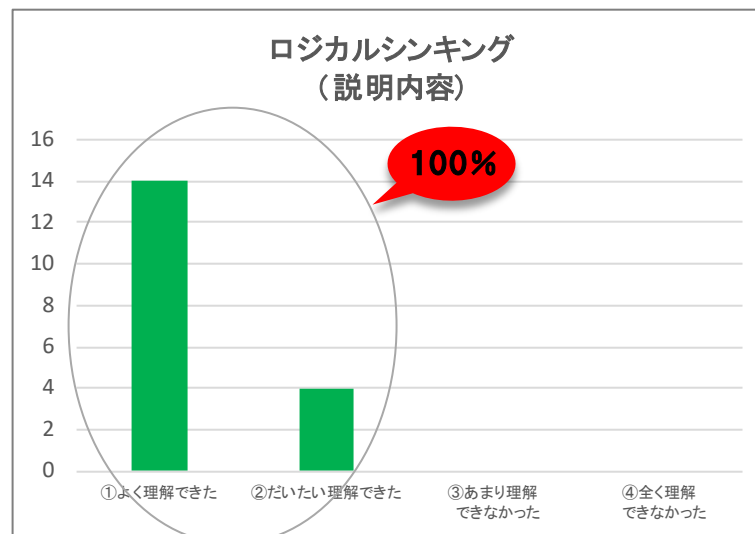
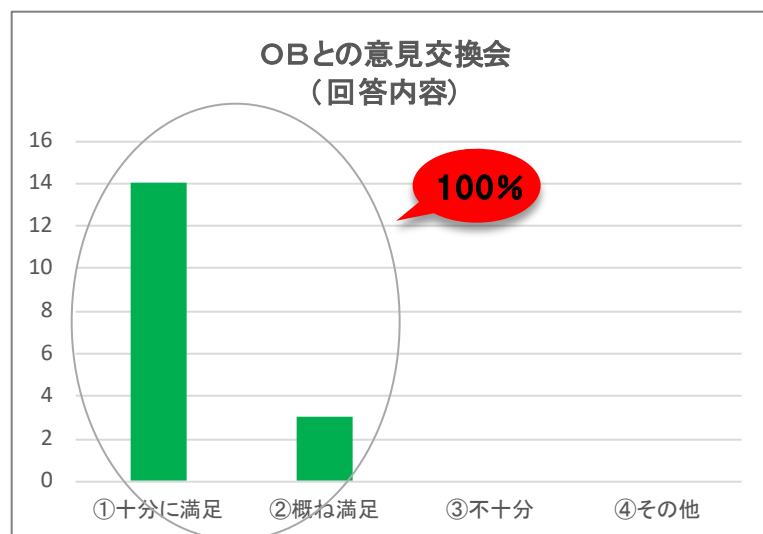
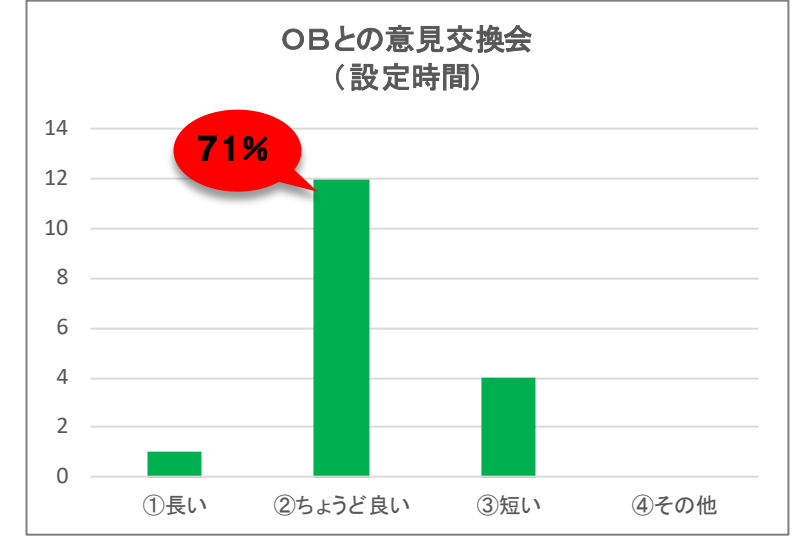
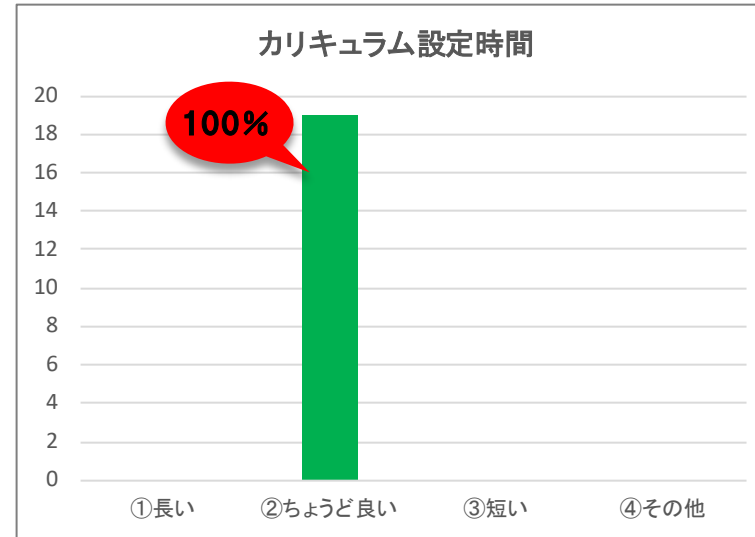
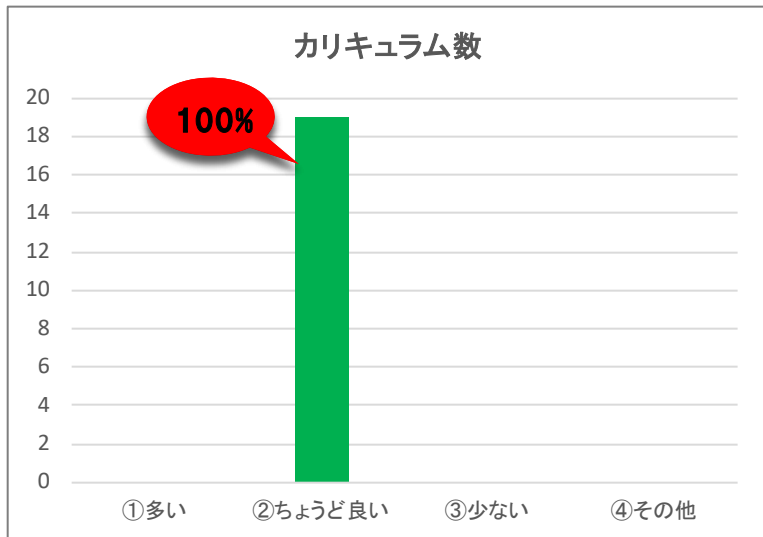
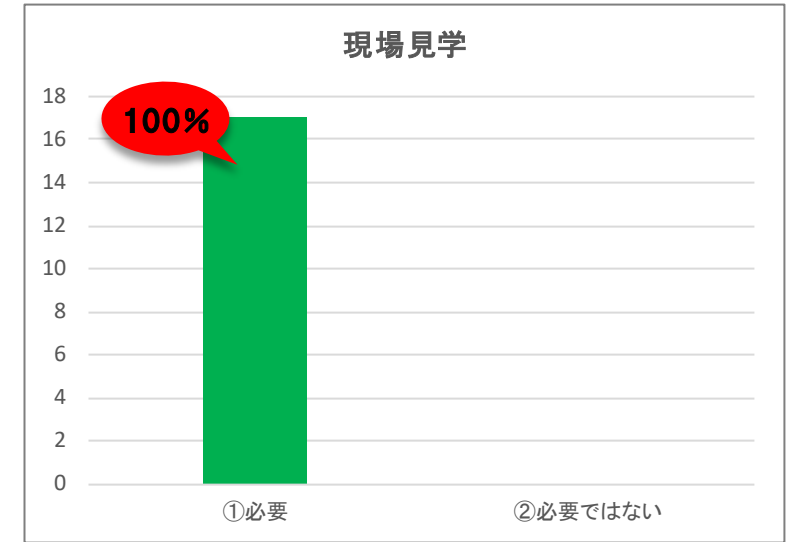
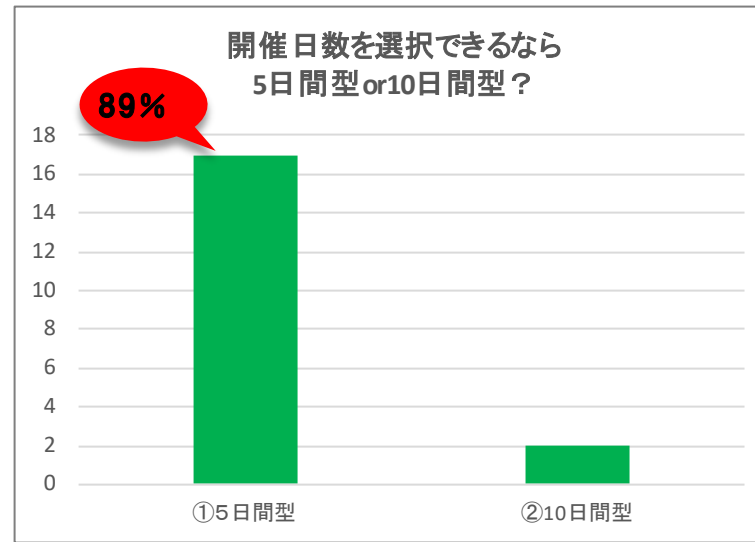
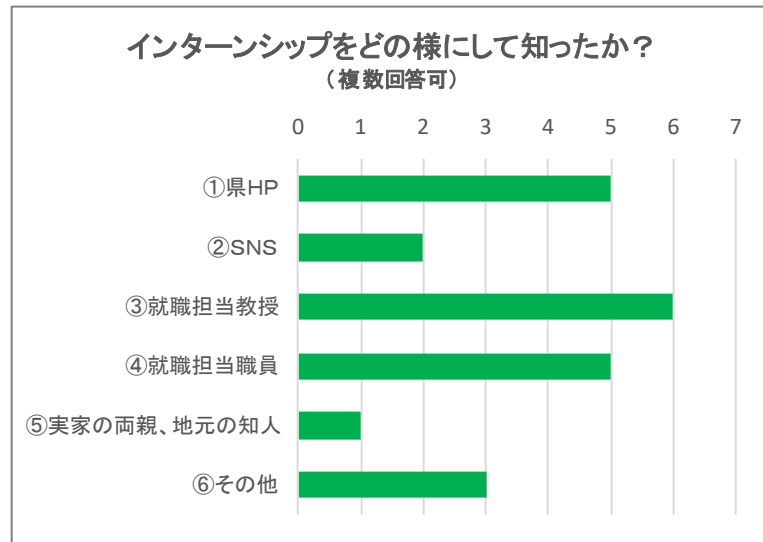


－ロジカルシンキング実務演習（グループ別発表）－

4. 2022年度インターンシップ・プラスについて

(4) アンケート結果

分析結果：研修生（19名）からの回答集計・分析



5. 総合土木職に関する年間スケジュール

2022年度の実施状況

	インターンシップ、セミナー等のスケジュール	採用試験スケジュール 【大卒程度】	採用試験スケジュール 【大卒程度・社会人枠】	採用試験スケジュール 【高卒程度】
4月				
5月	・インターンシップ募集開始	・(5/6) 試験案内配布開始 →受付開始～5/27まで	・(5/6) 試験案内配布開始 →受付開始～5/27まで	
6月		・(6/19) 第1次試験 ・(6/28) 第1次試験合格発表	・(6/19) 第1次試験	
7月	・インターンシップ募集〆切 (7/8)	・(7/21-29) 第2次試験	・(7/11) 第1次試験合格発表	・(7/8) 試験案内配布開始
8月	・1日職場訪問 (8/10) 中止 ・インターンシップ (8/29～9/2)	・(8/15) 第2次試験合格発表	・(8/21) 第2次試験	・(8/1) 受付開始～8/26まで
9月			・(9/9) 第2次試験合格発表	・(9/25) 第1次試験
10月				・(10/5) 第1次試験合格発表 ・(下旬) 第2次試験
11月				・(中旬) 第2次試験合格発表
12月	・青森県庁JOBセミナー			
1月	・次年度の試験概要の公表			
2月				
3月				

※) 2022年度は12月～3月期に北海道、東北、関東地域の主要大学・高専等にてキャリアセミナーを開催予定です。

※) スケジュールは年度によって変更となる場合がありますので、最新情報にご注意ください。

6. 青森県土木系技術職員（大卒程度）の応募・受験状況

(単位：人)

年度	採用枠	申込者(A)	受験者(B)	合格者 (C)	申込倍率 (A/C)	受験倍率 (B/C)
H12	13	92	73	14	6.6	5.2
H13	6	92	76	6	15.3	12.7
H14	3	76	57	3	25.3	19.0
H15	3	61	45	3	20.3	15.0
H16	2	61	49	2	30.5	24.5
H17	1	59	41	1	59.0	41.0
H18	1	40	30	1	40.0	30.0
H19	2	37	31	2	18.5	15.5
H20	2	29	23	2	14.5	11.5
H21	8	47	36	8	5.9	4.5
H22	7	32	29	8	4.0	3.6
H23	8	31	26	8	3.9	3.3
H24	19	35	31	17	2.1	1.8
H25	16	51	49	16	3.2	3.1
H26	17	19	16	10	1.9	1.6
H27	27	46	41	26	1.8	1.6
H28	30	59	52	30	2.0	1.7
H29	28	48	44	26	1.8	1.7
H30	26	56	46	26	2.2	1.8
R1	27	44	34	19	2.3	1.8
R2	32	52	46	32	1.6	1.4
R3	19	42	34	17	2.5	2.0
R4	23	31	28	23	1.3	1.2

注1) 平成17年度からは「総合土木職」となっています。

注2) 過去インターンシップ研修生の合格率は、年によって変動はありますが、約60～90%となっています。

7. 関連サイト・問い合わせ先

キャリアイメージに関すること、インターンシップ、各種セミナー及び職員採用試験等に関する最新情報は以下をご覧ください。
また、Twitter及びInstagramによる情報提供サービスも開始しましたのでご利用ください。

【土木系公務員を目指す方のためのキャリア支援サイト】

県土整備部キャリアNAVI (右のQRコードからご覧いただけます)

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/aomori-kendo-careernavi.html>



【青森県 県土整備部 整備企画課Twitter】

ユーザー名 : @aomoriken_seibi (右のQRコードからご覧いただけます)

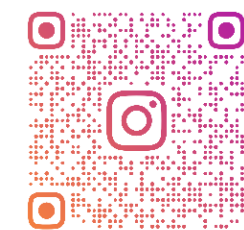
https://twitter.com/aomoriken_seibi



【青森県 県土整備部 整備企画課Instagram】

ユーザー名 : aomori.dobokujinzai (右のQRコードからご覧いただけます)

<https://www.instagram.com/aomori.dobokujinzai/>



AOMORI.DOBOKUJINZAI

【職員採用試験に関する最新情報】

青森県人事委員会ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/j-kanri/saiyou.html>

青森県人事委員会Facebook <https://www.facebook.com/AomoriPref.shokuinsaiyou/>

【その他の県土整備部に関すること】

県土整備部ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/>

県土整備部Facebook <https://www.facebook.com/aomori.kendo>

【問い合わせ先】県土整備部インターンシップ窓口

青森県 県土整備部 整備企画課 企画・防災公共推進グループ

〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号

TEL : 017-734-9644

FAX : 017-734-8184

e-mail : seibikikaku@pref.aomori.lg.jp



8. 県土整備部キャリアNAVIの紹介

更新日付：2021年12月23日 整備企画課

土木系公務員を目指す皆さんのためのキャリア支援ウェブサイト「**県土整備部キャリアNAVI**」を開設しています！

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/aomori-kendo-careernavi.html>



県土整備部キャリアNAVIラインナップ

県土整備部の紹介

キャリアNAVIとは？ まずはここから！	県土整備部の仕事 組織・業務概要をご紹介します
県土整備部の本質とは？ 「本質」が「やりがい」に！	職員紹介 職員の生の声をお届けします
人財環境・継続教育プログラム 人を育てることを財産に！	話題の注目事業とは？ 注目事業をお見逃しなく！
県土整備部の365日 Facebook	県土整備部へのアクセス

キャリアサポートプログラム（※印：参加には事前登録が必要です）

インターンシップ （※） 「技術系公務員」を体験してみませんか？	若手職員訪問プログラム （※） 若手職員と話してみませんか？
青森県庁1日職場訪問 （※） 職場の雰囲気を経験！	青森県庁JOBセミナー （※） 先輩職員が働く魅力を伝えます！
「総合土木職」採用情報 一緒に動きませんか？	SNS情報提供サービス 関連情報を逃さずお手元に！
県土整備部キャリアセミナー 正確なキャリアイメージをお伝えします！	県土整備部キャリアカレンダー 主な年間スケジュールを1枚に！
学校関係者の皆さんへ キャリア教育支援	

職員紹介

県土整備部には、出先機関も含めて総勢410名（令和3年4月時点）程の技術職員が在籍していますが、ここでは、新採用職員から技術系公務員を目指している皆さんへのメッセージ、新採用職員的主要年間スケジュール、「ある1日のタイムスケジュール」と題した先輩職員のワークライフバランスについて紹介しています。皆さんのキャリアイメージにつなげて頂ければ幸いです。

※過年度の職員紹介情報はアーカイブとしてページ最下部に整理しています。

※人事委員会ホームページにおいても県職員の仕事内容等が紹介されておりますので、そちらもご覧ください。

☞ <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/j-kanri/shigotosyukai.html>

ニューフェイスの紹介（令和3年度採用）

本庁（県土整備部）

※名前をクリックすると、新採用職員からのメッセージを見ることができますので、ぜひクリックしてみてください！

整備企画課 榎方 智輪 『コソコソ地道に着実に』

整備企画課 小川 成貴 『県民の安全、安心な生活のために』

道路課 葛川 将汰 『当たり前こそが安全で安心の証』

道路課 西岡 翔太 『毎日をたのしく！』

河川砂防課 野呂 海幸 『青森県を災害から守るためにできること』

河川砂防課 松嶋 朋美 『少しずつでも着実に』

港湾空港課 泉田 真 『よりよい青森県にしていこうために』

港湾空港課 蝦名 沙紀 『日々コソコソと頑張る』

本庁（県土整備部）新採用職員の業務の様子



更新日付：2022年7月22日 整備企画課

SNS情報提供サービス（Twitter・Instagram）

県土整備部では、TwitterとInstagramによる情報提供サービスを実施しております。皆様のご登録をお待ちしています！

Twitter

青森県県土整備部では、「100年先まで持続可能な県土の整備・維持管理」を目標に掲げ、インフラで創る100年プロジェクトとして各種取り組みを進めており、広報にも力を入れています。採用試験情報やインターンシップ及び関連イベント等の情報提供を目的として、Twitterアカウントを開設しましたのでお知らせします。

なお、本アカウントは投稿へのご意見等には対応いたしかねます。

以下のQRコードまたはアカウントURLからご覧いただけます。

アカウント名：インフラで創る100年プロジェクト【青森県整備企画課 公式】

ユーザ名：@aomoriken_seibi

アカウントURL：☞ https://twitter.com/aomoriken_seibi

9. 終わりに

インターンシップ・プラスに参加していただいた学生の皆さんへ

県土整備部が公募型インターンシップを始めて8年目となりました。

この8年間で振り返りますと、インターンシップやキャリアセミナー等を通じて数多くの学生さんとの出会いがありました。また、時間が経つのは早いもので、数年前は学生だったインターンシップ研修生が、今や我々の仲間としてインフラ整備の最前線で頑張ってくれています。

さて、県土整備部インターンシップは、平成30年度から名称を「インターンシップ・プラス」とあらため、これまでの実績を活かした独自のカリキュラム編成により、他では絶対に学ぶことができない「本質」を提供することにこれまで以上にこだわり、皆さんが学校で学んでいることの本当の意味を考える機会や今後の進路を決める上での道標の一つとなってくれたら、つまりは皆さんの「財産」、「プラス」となっていたら、そんな願いを込めて取り組んでいます。

インターンシップ最終日の参加学生のみなさんの言葉を聞いて、今回のインターンシップがみなさんの今後の生活に少しでも“プラス”となる経験になってもらえたようで、われわれが名称に込めた想いの一つでもあり、インターンシップを実施してホッと胸をなでおろしたところです。

5日間という短い時間ではありましたが、今回のインターンシップが皆さんのキャリアイメージにつながってくれたら嬉しい限りです。そして、皆さんの残りの学生生活が実り多いものとなることを心から祈っております。

